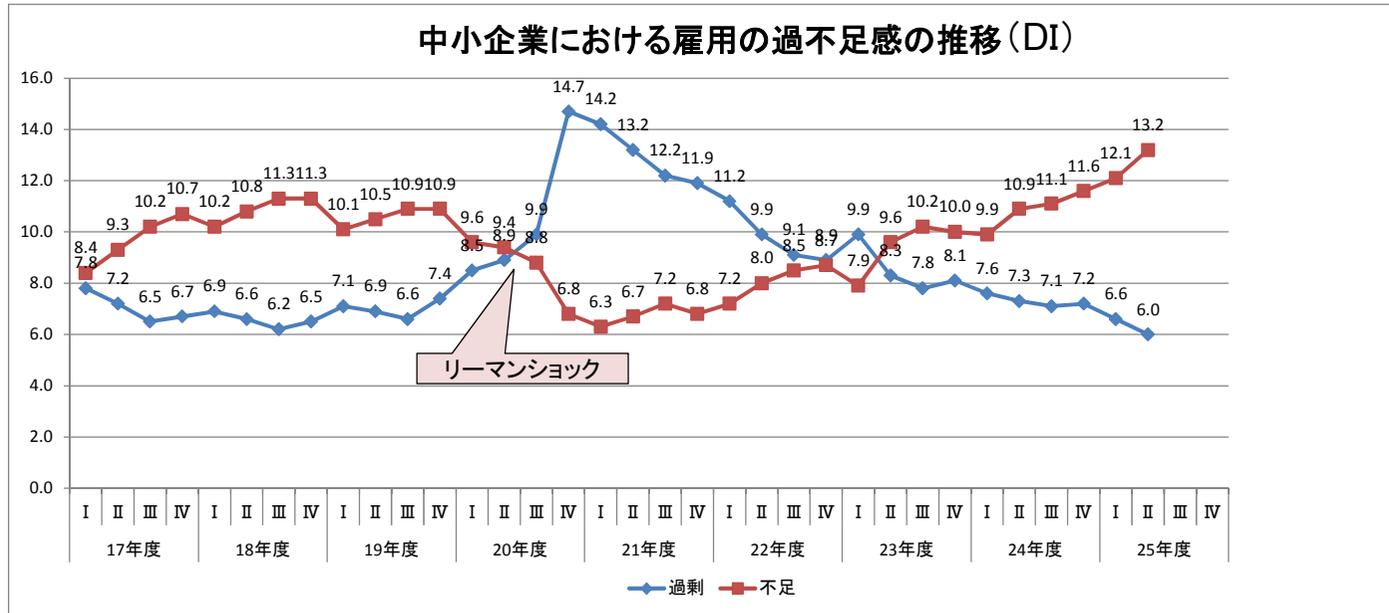


中小企業への就職支援策の充実・強化について

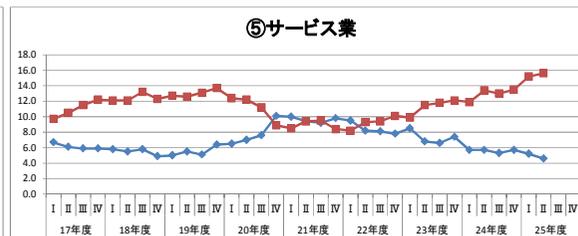
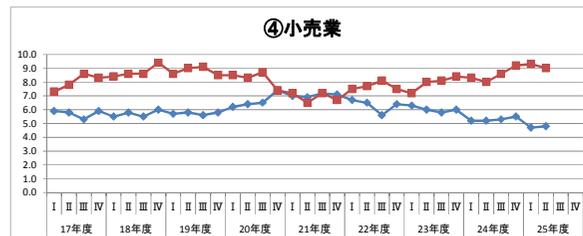
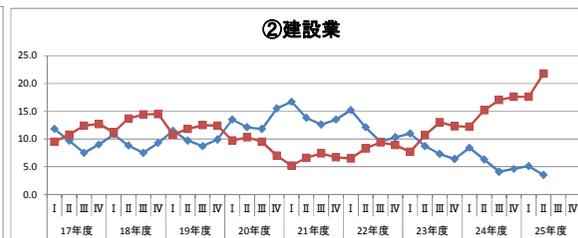
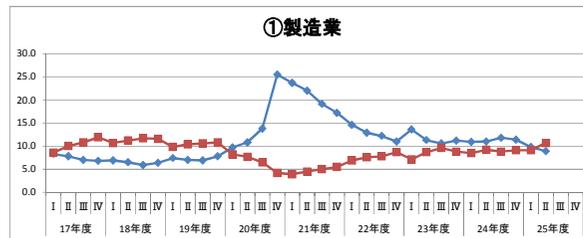
平成25年12月
中小企業庁経営支援課

1. 中小企業の人材を巡る現状と課題 (1)

- ・景気の回復等を受け、雇用が「不足」しているとする中小企業が急速に増加。
- ・業種別には、建設業、サービス業の不足感が顕著。他方、製造業、卸売り業は回復感の遅れ等から均衡。



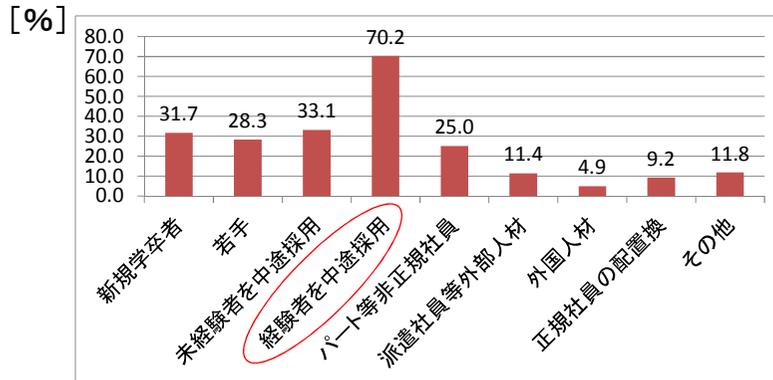
出典: 中小企業基盤整備機構「中小企業景況調査」



1. 中小企業の人材を巡る現状と課題 (2)

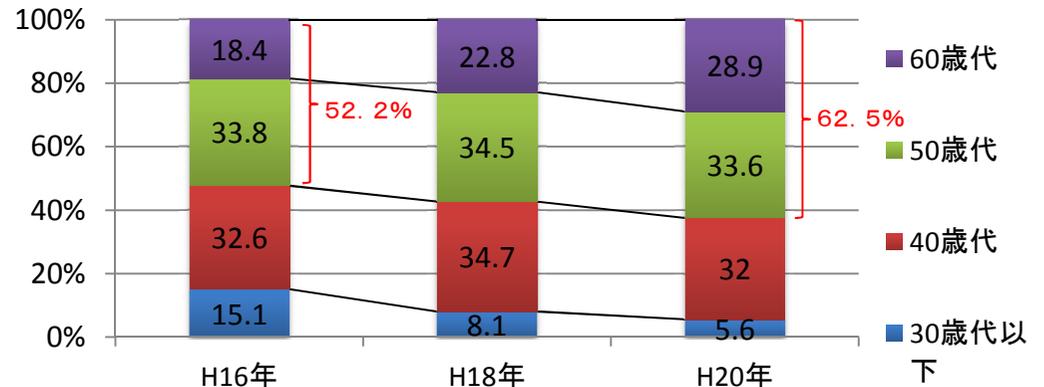
- ・これまで中小企業が採用する人材は、即戦力となる中途採用が中心。
- ・しかし、従業員の高齢化が急速に進んでおり、若手人材の確保が重要な課題。

中小企業の人材不足を補う人材



出典: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「企業活動における人材の活用に関するアンケート調査」(2008年11月)

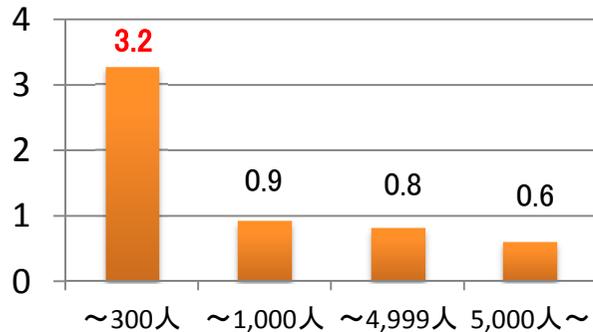
中小企業従業員の平均年齢の推移



出典: 東京都「平成21年度 東京の中小企業の現状(製造業編)」

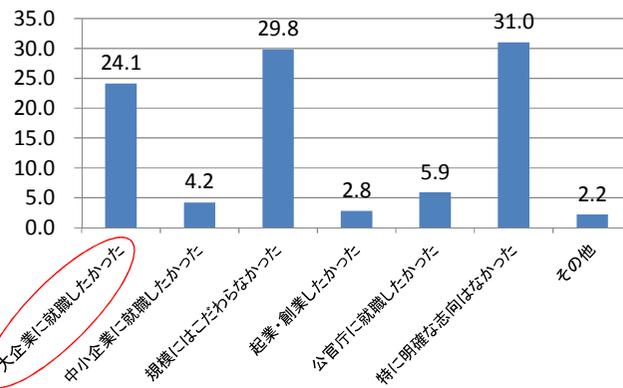
- ・こうした中、大卒求人倍率は、中小企業側が人材確保のニーズが高い一方、学生側は大企業志向が強く、雇用のミスマッチが生じている。

大卒求人倍率(H25年3月卒)

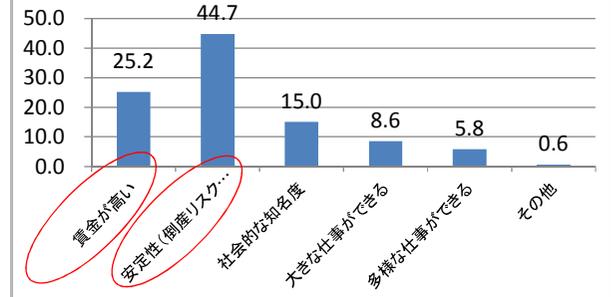


出典: リクルートワークス研究所発表資料より作成

学生時代の就職先に対する指向



大企業に就職したかった理由



出典: 野村総合研究所「仕事に対する満足度・モチベーションに関する調査」2008年12月

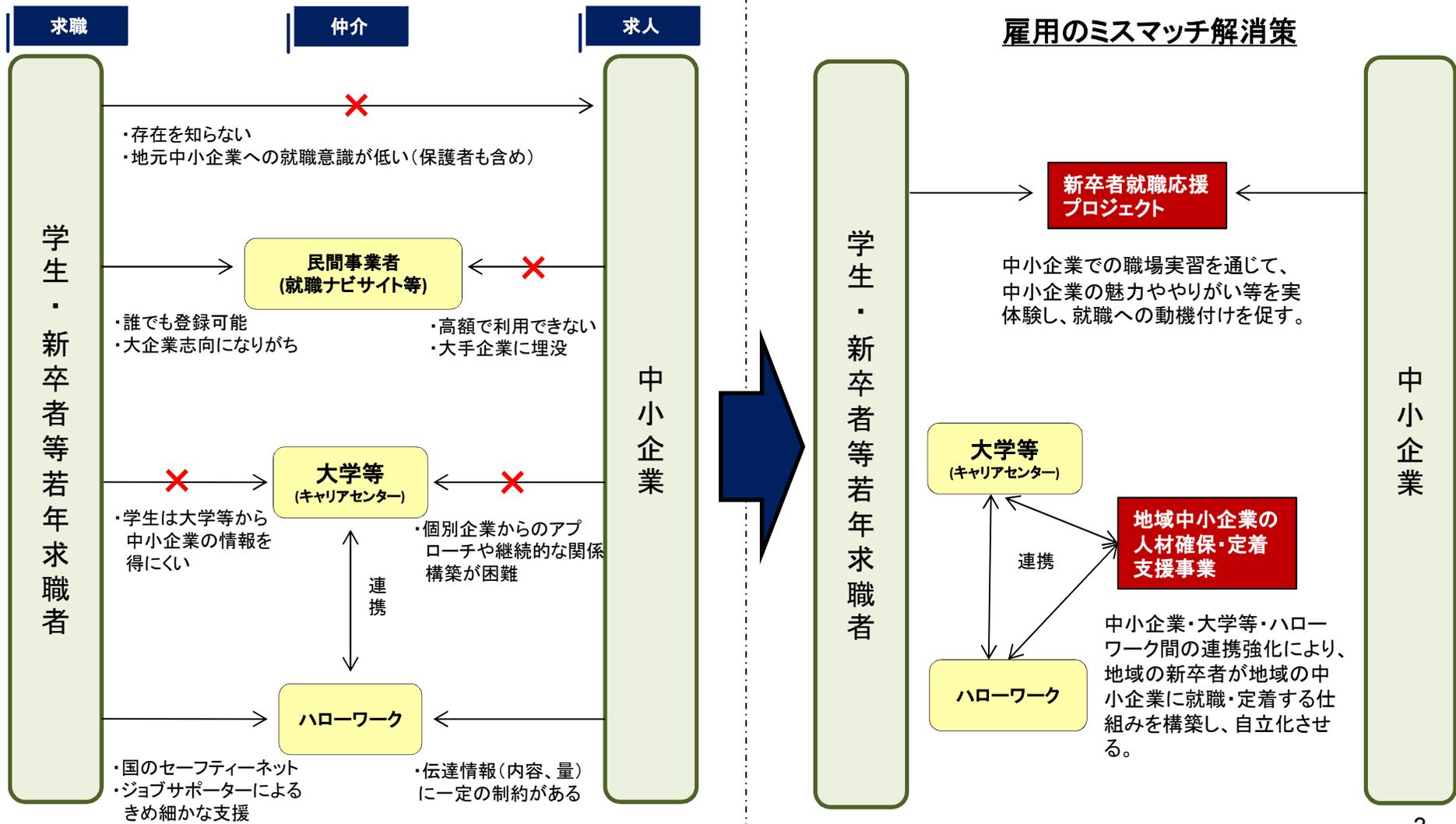
2. 中小企業の新卒者確保に関する課題の整理

【雇用のミスマッチが生じる要因】

中小企業の魅力・情報を伝え、人材獲得から育成・定着まで一貫して取り組む機能の不在。

○中小企業における職場体験 → 「新卒者就職応援プロジェクト」

○地域の中小企業による採用・育成・定着への取り組み → 「地域中小企業の人材確保・定着支援事業」



3. 施策説明

1. 新卒者就職応援プロジェクト

概要：既卒3年及び卒業年度にある大学生等を対象に、社会人基礎力や就職に必要な知識・技能等を習得するため、中小企業でカリキュラムに沿ったインターンシップを実施（2万人規模：24年度補正）。

○実習期間：最長6ヶ月間（4年生は最短2週間、実習時間4時間～8時間）

○助成金：実習生に対し、日額最大7,000円を支給

○全国中小企業団体中央会より、全国7社にコーディネート業務を委託

○成果

・第1期（平成22年4月～平成22年12月）

就職率37%（実施件数：4,988人　うち就職した者：1,831人）

・第2期（平成22年10月～平成23年12月）

就職率43%（実施件数：9,342人　うち就職した者：4,031人）

・第3期（平成24年1月～平成24年12月）

東日本大震災の被災地（青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉）

就職率40%（実施件数：686人　うち就職した者：272人）

合計 就職率41%（実施件数：15,016人　うち就職した者：6,134人）

「新卒者就職応援プロジェクト」利用者の声

実習生：23歳

受入企業：OA機器販売

実習の概要

○ 複合機メンテナンスに関する業務の実習。

実習生の声

○ 実習を通してさまざまなことを学んだ。以前は「社会」を外から見ていたが、今は、自分が社会の中にいることを実感できるようになった。

受入企業の声

○ 学生気分が抜けない面もあったが、一緒に取引先を回るうちに、少しずつ社会人としての意識・心構えができてきた。「採用して欲しい」という意気込みが強く伝わってきたので、正社員として雇用した。

○ 新人が入ると社内の雰囲気も変わり、他の社員への刺激になった。

実習生：22歳

受入企業：総合広告代理業

実習の概要

○ 営業アシスタントに関する実習。

実習生の声

○ 一つの役割をもらい、社会の雰囲気を肌で感じることができた。
○ 社会や組織で自分の居場所を作るのは自分次第ということに気付いた。大事なのは「先ずやってみる」こと。それにより色々な気付きが得られ、自信が生まれた。

受入企業の声

○ 指導する立場からすれば、手間がかかるのは確かだが、指導する側も成長したのは事実。
新卒採用を行う意味を改めて考えさせられた。

II. 地域中小企業の人材確保・定着支援事業について

概要：地域の中小企業と大学等が連携し、中小企業の魅力発信事業を通じた中小企業と学生の顔が見える関係作り、マッチング、育成・定着までを一貫して支援する体制を構築する（平成24年度補正）。

STEP 1：中小企業の魅力発信、中小企業と大学生との交流（「顔が見える関係」づくり）

- ＜例＞
- ・ 経営者による出前講座
 - ・ 若手従業員と大学生等との交流会
 - ・ 保護者向けセミナー
 - ・ 短期インターンシップ

STEP 2：中小企業と大学生等のマッチング

- ＜例＞
- ・ 大学の学内で行う合同会社説明会
 - ・ キャリアセンターを活用した大学生等と中小企業との職業紹介

STEP 3：地域の若手従業員の育成・定着支援（研修・メンタルケア等による離職の低減）

- ＜例＞
- ・ 新人研修（地域の同期づくり）
 - ・ 2年目・3年目研修
 - ・ メンタルケア
 - ・ ものづくり担い手育成セミナー

○25年度実施団体：46団体（全都道府県）

○24年度の実績（26団体）

- ・ 参加人数：51,264人（STEP 1：24,360人、STEP 2：22,695人、STEP 3：4,209人）
- ・ 参加企業数：10,197社
- ・ 内定人数：1,664人

「地域中小企業の人材確保・定着支援事業」利用者の声

STEP 1：交流・魅力発信 魅力発信グランプリ (中国地域NBC協議会)

概要

- 学生が中小企業取材し、その魅力を他の学生にプレゼン。

学生の声

- 中小企業にも業界トップシェアの会社があることを知った。
- 中小企業に偏見を持っていたが、独特の強みや魅力を持った企業があることがわかった。

企業の声

- 会社説明会ではわからない企業の生の姿を見てもらった。
- 知名度の低い中小企業の中にも、興味深い事業を行っている企業があることを知ってもらった。

STEP 2：マッチング 合同就職面接会 (長野県中央会)

概要

- 地域の中小企業を集めて学生と面接を実施。ハローワーク、ジョブカフェも相談コーナーを併設。

学生等の声

- 大手ナビサイトにはない企業と出会えて良かった。
- 中小企業に魅力を感じ、中小企業に対するイメージが広がった。

企業の声

- これまで大学には相手にされなかったが、大学との関係ができた。今後もこのような機会を増やして欲しい。

STEP 3：定着支援 新入社員向けセミナー (石川県中央会)

概要

- 社内に同期が少ない中小企業の若手社員の「やる気」を引き出すための地域の同期作りセミナー。

若手社員の声

- 他社の社員と話ができ、改めて頑張ろうと思った。
- 仕事に慣れたタイミングで仕事を振り返ることができたので、非常に有意義であった。